

て

み

の

手と手を取り合って

未来をみんなで作ろう

のびのびと自由に

手蓑 未来づくり10年計画書

南九州市 手蓑地区公民館



どげんじゃろかい



手蕒に住んでいて、どうにかすべきだと思ふことを取り上げてみました。

環境

- 空き家が目立つようになってきた。
- 耕作放棄地が目立つようになってきた。
- 空き家や敷地が荒れて草が伸び放題になってきた。
- イノシシの害が目立つようになってきた。



生活

- 高齢の方は買い物や病院への交通手段がない。
- 災害時の安全確保や日常のゴミ出しや草取りも困難。
- 誘致企業の従業員との交流をしたい。
- 地元に店が1軒も無く、買い物は知覧まちや鹿児島市内まで行っている。
- 鹿児島市内への動脈である県道23号(谷山知覧線)が通行止めになるのは不便だ。



地域活動

地区公民館
活用

新たな
活動

- 手蕒地区は4集落とも限界集落になっている。
- 行事に携わる人が少なく運営が難しい。それに参加者も減っている。
- 役員のなり手が少なくなった。
- 地区公民館に行く用事がない。
- 自治会に入らない人がいる。
- 愛護作業が負担になってきている。





こげんじゃろかい！！

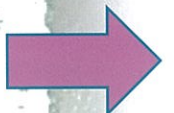


手養地区のどうにかすべき課題(どげんじゃろかい?)について、解決策を「こげんじゃろかい！！」と考えてみました。

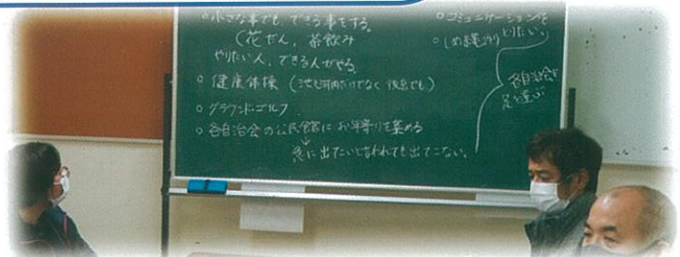
- 空き家は所有者に適切な管理をしてもらうように依頼する。また、貸してもらえるか等の調査を行ったらどうか。
- 耕作放棄地は移住者や希望者へ格安で売買するか無償で貸し出してもいいと思う。
- 有害鳥獣はジビエとして販売できないかな。



- ゴミ出しや買い物にどれだけ困っているかを聞いてみる。
- JA南さつまの移動購買車をもっと利用したらどうか。
- 誘致企業若者との婚活イベントなどはどうか。
- 誘致企業従業員や地区内の人に弁当の販売をしたらどうか。
- 県道23号線は経済の動脈だから通行止めにならないようにしてもらいたい。



- これまでの行事を見直す時期なのかな。
- 参加したくなる行事を考えた方が良いのかな。
- 各自治会で行っている六月灯、十五夜、コッゾメ(疱瘡団子作り)、花壇作りはこれからも続けていって、他の自治会からも参加できるようにしたい。
- 自治会の合併を、そろそろ考えた方が良くかも。





そげんすっど



手養地区の課題解決策を「こげんじゃろかい！！」と考えた事柄を、具体的に実施する方策「そげんすっど」を考えてみました。

- 空き家と耕作放棄地は手養地区の資源。SNS等で貸借り可や売買可の情報を発信しよう。
- 役所等の各種補助制度を利用しよう。
- 有害鳥獣に強い作物を栽培しよう。加工できる作物は加工して真空パック等にして販売しよう。(ソバ、イタドリ、ゼンマイ、クサンナ、センブリ、ドクダミ、タラの芽、ツワ、タケノコ、三島柴胡等)
- 有害鳥獣の有効利用方策(ジビエ等)を考えよう。

- 自治会長と協力して、在宅福祉アドバイザー・保健推進員・民生委員の連携を活用しよう。
- 簡単な買い物やゴミ出しなどの手伝いを無償ではなく、有償で行う仕組みを考えよう。
- JA南さつまの移動購買車について要望等を出して利用し尽くそう。
- 体が動いて元気な時から転ばぬ先の健康体操をしよう。
- 誘致企業にも地区内の情報を提供し、行事やイベントに参加してもらおう。
- 地元食材で弁当を作り、誘致企業や地元の人に販売しよう。
- 県道23号(主要地方道谷山知覧線)の整備要望を出そう。

- 地区公民館や集会施設を茶飲み場にして、みんなが楽しめる憩いの場にしよう。
- 特産品を作り販売しよう。加工施設を整備し雇用を増やそう。
- 鹿児島市に近い地の利を活かし、多くの人が集まるイベントを企画しよう。
- 知覧テニスの森公園内の広場を活用した催し物を行おう。
- 各自治会の伝統行事への自治会を問わない参加呼びかけや伝統行事の記録・保存を行おう。
- 市(マルシェ)を開こう。
- 自治会合併を考えよう。

11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



5 ジェンダー平等を実現しよう



12 つくる責任つかう責任



17 パートナリシップで目標を達成しよう



経 緯

手蓑地区は少子高齢化により、人口がこの10年間に約100人減少し、令和4年1月現在315人となりました。30年前の半分の人口です。高齢化率も10年前の40.56%から57.5%に上昇しています。

田畑は耕作放棄地が目立ち、空き家も増えてきました。

また交通面では、平成29年3月に全線開通した南薩縦貫道の影響もあり、以前のような交通量はなくなり地区の活気にも影響を与え、さらに令和2年3月には手蓑小学校も閉校となり、子供たちの声も消えてしまいました。

このように手蓑地区にとって不利な状況が続く中、このままではいかん、手蓑地区をどげんかせんないかん考える方々が集まり、令和2年6月に「どげんじゃろ会」という会を発足させ、「地区内住民の意見を聞きながら福祉、振興及び親睦を図り、良好な地域社会の維持及び形成に資すること」を目的として活動を始めました。

手始めに地区民の考えを知ることから始めることにして、地区内の高校生以上のすべての方307名にアンケート調査を実施し、183名の方々から回答をいただきました。このアンケート結果を基に毎月1回、仕事が終わった後の夜に地区公民館に集まり協議をしてきました。現在の問題点とその解決策や将来の活動方策等を議論しあってできたのがこの計画書です。今後、この計画書に沿って、すぐに取り組もうというのではなく、動ける人たちが、動ける機会が来たら取り組んでいこうという計画です。

計画書は「どげんじゃろ会」にちなんで、「どげん?」「こげん!」「すっど!」というような3つの構成にしました。たとえば手蓑地区の課題一つひとつについて、このことについては「どげんじゃろかい?」と問いかけ、「こげんじゃろかい!!」と課題の解決策を挙げて、「そげんすっど」と行動に移すというような具合です。

この計画書の内容を地区の皆さんに知ってもらい、南九州市内外の方々にも知ってもらい、手蓑地区は将来に向けて、このように「きばろう」と思い、少しでも地区が活性化することを願い作成しました。

地区民の皆さん、手と手を取り合って、のびのびと自由に、未来をみんなで作ってまいりましょう。

【地区の方のご意見】

・愛護作業は人口減になって問題もあろうが自分の住むところだから積極的にやるべき。市、地域、何等かの対策を取り、明るい通りやすい環境づくりが必要。 (80代男性)

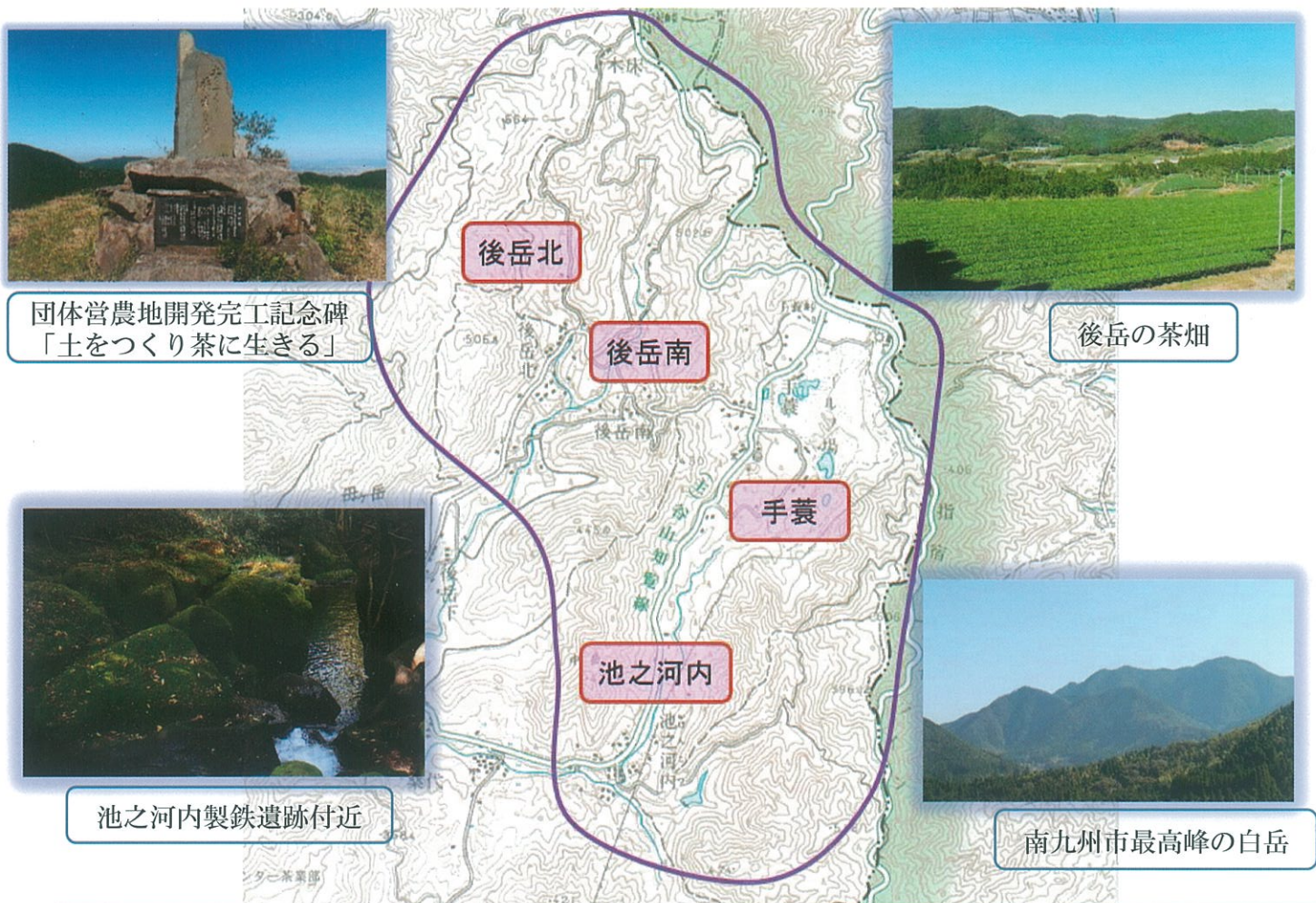
・若者は地元に残ると公民館役員や他、いろいろ負担が大きいので少なくすると良い。 (50代男性)

・空いた土地を利用し、ひまわりやコスモスを植えたら楽しいかも。 (60代女性)

・手蓑から後岳地区に入ると茶畑が広がり、茶の産地賞をとる景観が素晴らしい。ここに、だんご屋みたいな店を作り、お茶とだんご等でくつろげる喫茶店を作る。売り子さんは高齢者にお願ひし、少しでもこづかいと、人と会う場所になるように。地区で運営し、武家屋敷、平和会館への道路になるような取り組みをしたい。 (60代女性)

・若い独身者に良い見合いの話があればと思う。まずは結婚!働ける場がないので若者は外に出ていく。残念である。手蓑の魅力や色々な情報を外に発信してもらいたい。 (70代女性)

・海・山・川も自然環境に、歴史・文化に恵まれた南九州市手蓑地区の未来は・・・自分の想像する30年～50年先の手蓑は鹿児島県の軽井沢と呼ばれる地区になってほしい。 (80代男性)



SDGs (エスディージーズ)とは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択されたもので、環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題の解決を2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されています。

自分のこと、自分が暮らす地域のこととして考えにくいかもしれませんが、地域の課題がどれに当てはまるか、「地域づくり」という観点で、現在できていること、今後できそうなことを考えてみましょう。そして、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」地域づくりを目指してまいりましょう。

※「そげんすっど」の右側に関連の目標(アイコン)を掲載しています。

後記

地区の主要な産業である茶業は、「知覧茶」の本場として盛んです。また手蓑小跡地には印刷会社に移転して来て、今後、地区にどんな影響を与えるか楽しみでもあります。

一方、車窓からの風景に空き家や荒れ地が増えつつあることに一抹の寂しさを覚え、この手蓑地区を盛り上げてきてくれた方々もそれなりに齢を重ねてまいりました。

この転機と考える中、地区の皆様のご協力によりまして、今後の手蓑地区の指針となる「手蓑未来づくり10年計画書」を作成できたことをうれしく思います。

今後は、この計画書を参考に地区を盛り上げたく活動していきたいと思います。今後とも、地区の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年2月吉日

手蓑地区公民館長 栢川博久

手蓑未来づくり10年計画書

編集 どげんじゃろ会

協力 南九州市まちづくり推進課

南九州市集落支援員

発行 手蓑地区公民館(2022年2月)

〒897-0302 南九州市知覧町郡10392番地

TEL&FAX 0993-83-4319